はじめに・セット内容の確認

Vixen®

SXGハーフピラー取扱説明書

はじめに

このたびは、ビクセン「SXGハーフピラー」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
この説明書はSXGハーフピラーの取扱説明書です。
ご使用にあたり、取付ける三脚・ピラー脚・架台（赤道儀など）に付属の説明書も併せてお読みください。

セット内容の確認

本製品には以下のものが入っています。
内容をお確かめください。

内 容 物 一 覧

	品　名	数量	参　考
①	ハーフピラー本体	1	
②	スペーサー	1	SXW・SXD・SXPマウント搭載時に併用します
③	水平支点（ツノ）	1	SXW・SXD・SXP・GP2・GPD2赤道儀、HF2経緯台搭載時に併用します
④	六角レンチ5mm	1	水平支点（ツノ）固定時、ピラー架台取付時に使用します
⑤	取扱説明書	1	本書

株式会社ビクセン
〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3
[代　　表] TEL：04-2944-4000 FAX：04-2944-4045
[ホームページ] http://www.vixen.co.jp

製品についてのお問い合わせ
弊社ホームページ（左記URL参照）のお問い合わせメールフォーム、またはお電話にて受け付けております。
カスタマーサポートセンター　電話番号：04-2969-0222（カスタマーサポートセンター専用番号）
受付時間：9:00～12:00、13:00～17:30（土・日・祝日、夏季休業・年末年始休業など弊社休業日を除く）

搭載対応

搭載可能マウント ※1 ※2 ※3	SXW・SXD・SXP・GP2・GPD2各赤道儀・HF2経緯台、スカイポッド経緯台、ポルタⅡ経緯台
対応三脚	SXG-HAL130、SX-HAL130、SX-HAL110、スカイポッド三脚、ポルタⅡ用三脚（ポルタⅡ経緯台に組込みの三脚）

※1：GP60→45AD（別売）併用により旧製品GP・GPE・GPD・GPX・SP赤道儀、およびHF経緯台も搭載可能となります（SPDX赤道儀は搭載できません）。
※2：ポルタⅡアダプター（別売）併用により旧製品ポルタ経緯台も搭載可能となります。
※3：GP2・GPD2赤道儀を搭載される場合、マウント結合部形状により搭載方法が変わります。（右記参照）

⑴ そのまま搭載できます。
（突起の直径が45mm）

⑵ GP45→60ADを取外すことにより搭載できるようになります。
（突起の直径が45mm・60mm）⑵-1
GP45→60ADはセットビス3本で固定されています。市販の六角レンチ2.5mmにてゆるめることで取外しできます。⑵-2

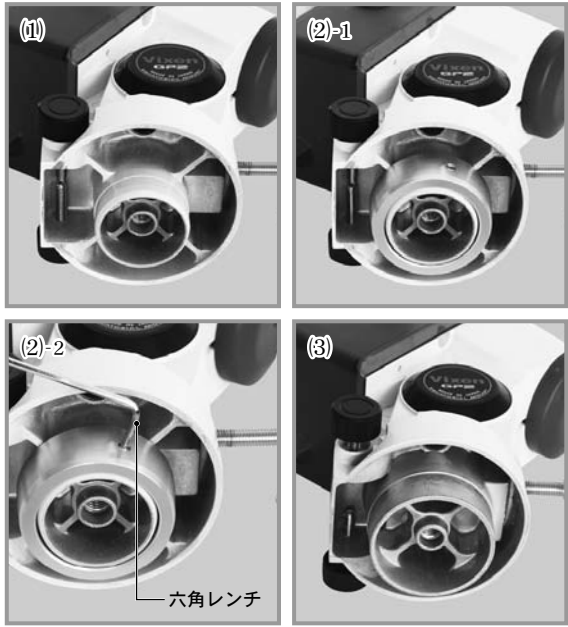
⑶ GP60→45AD（別売）併用により搭載可能となります。
（突起の直径が60mm）

組立ておよび三脚への取付け方法

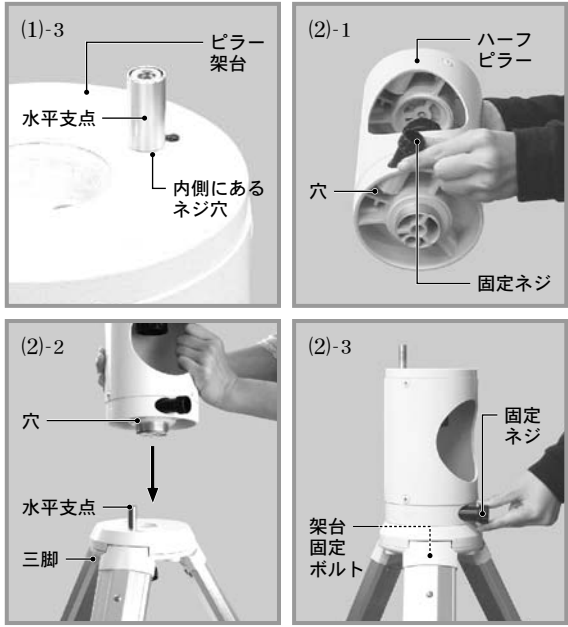
ここでは主にSXW赤道儀、SXG-HAL130三脚にてご説明いたします。

⑴ ハーフピラー本体に水平支点（ツノ）、スペーサーを取付けます。
※ スカイポッド経緯台、ポルタⅡ経緯台を搭載する場合、水平支点（ツノ）、スペーサーは使用しません。HF2経緯台は水平支点の有無に関わらず搭載できますが、水平方向ゆるみ防止を兼ねていますので、右記"GP2・GPD2赤道儀の場合"で水平支点を取付けることを推奨いたします。

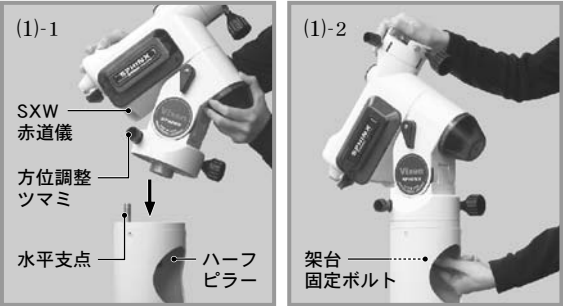
SXW・SXD・SXP赤道儀の場合

ピラー架台の外側にあるネジ穴を利用し水平支点、スペーサーを取付けます。付属の六角レンチを使用し、ゆるまないようにしっかりとねじ込んでください。⑴-1、⑴-2

GP2・GPD2赤道儀の場合

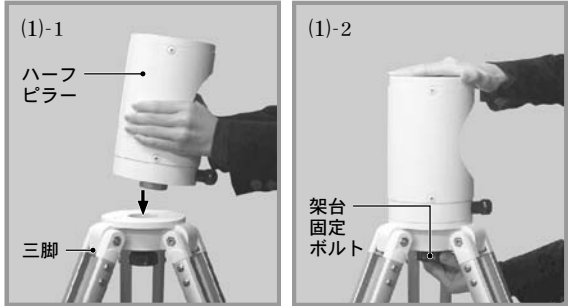
ピラー架台の内側にあるネジ穴を利用し水平支点を取付けます。スペーサーは使用しません。六角レンチを使用し、ゆるまないようにしっかりとねじ込んでください。⑴-3

⑵ ハーフピラーの下にある固定ネジをあらかじめゆるめておき、ハーフピラーを三脚に載せます。⑵-1
載せる際は、ハーフピラーの下にある穴と脚側（三脚、ピラー脚など）の水平支点（ツノ）の位置を合わせて載せてください。⑵-2
※ スカイポッド三脚、ポルタⅡ用三脚にご使用の場合、脚側に水平支点はありません。
載せた後は三脚にある架台固定ボルトとハーフピラーの固定ネジをしっかりとしめて固定してください。⑵-3

架台の搭載（SXW・SXD・SXP赤道儀、GP2・GPD2赤道儀の場合）

SXW赤道儀の例でご説明いたします。

⑴ 架台側の方位調整ツマミをあらかじめゆるめておき、写真のようにハーフピラーの上に載せます。⑴-1
その後ハーフピラー内部にある架台固定ボルトをしめて固定します。⑴-2
赤道儀に使用する場合は、ハーフピラーにある水平支点（ツノ）の位置が写真のようになるように配置してください。

最後に、赤道儀の場合は方位調整ツマミをしめてください。⑴-3
※ ポルタⅡ経緯台、スカイポッド経緯台を搭載する場合は水平支点（ツノ）、スペーサーを使用しません。そのまま搭載して架台固定ボルトをしめてください。

架台の搭載（スカイポッド経緯台の場合）

⑴ ハーフピラーを三脚に載せます。⑴-1
載せた後は三脚にある架台固定ボルトをしっかりしめて固定してください。⑴-2

⑵ 写真のようにスカイポッド経緯台をハーフピラーの上に置き、ハーフピラー内部にある架台固定ボルトで固定します。⑵-1、⑵-2
※ スカイポッド経緯台にご使用の場合、水平支点（ツノ）、スペーサーは使用しません。